

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成22年9月27日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670200429号
法人名	医療法人 同潤会
事業所名	自立の家
所在地	鹿児島県薩摩川内市大小路町54番地8号 (電話) 0996-22-8611
自己評価作成日	平成22年6月25日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kagoshima-kaigonet.com/">http://www.kagoshima-kaigonet.com/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成22年7月30日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当施設には畑があり毎年季節の野菜を植えて、収穫した野菜を近隣におすそ分けしたり、みんなで料理をして、季節の野菜を味わって楽しんでいます。3年前までは、夏はニガゴリ・ナス・トマト・ピーマンなどでしたが、ここ2年は秋と夏はジャガイモを植えています。収穫の時は沢山穫れると利用者の皆様、「ドッサイジャドナ～」と歓喜の声を上げられます。この声を聞きたくてまた来年も頑張ろうと職員も意欲が湧いてきます。今年も春アンデスと男爵の2種類のジャガイモを植えました、6月には立派に育った2種類のジャガイモを収穫することが出来ました。「ワッゼーフットカドー」と利用者様の歓喜の声。早速ふかして食べてみました。皆様「コリヤ ウマカナー」「ホクホクシチョナー」早速ご近所におすそ分けをしました。外部評価の皆様本日の肉ジャガ(ジャガイモ)の味はいかがでしょう。じっくりと味わってくださいませ。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

薩摩川内市の中心部にあり、法人は医療機関、老人保健施設、デイサービス、訪問介護、居宅介護支援センター等、地域医療、地域福祉を担っている。住宅街であり「自立の家」は付近の民家と溶け込んでおり、まさに大家族の「家」である。管理者、職員は利用者と家族の絆を大切に、利用者が安心して日々を暮らせるように、常に利用者の立場にたった最善の生活の支援に努めている。又、健康面でも法人の医師の往診が毎週あり、家族の安心にもつながっている。地域の方の協力でエコ活動の一環として現在へちまのグリーンカーテン作りに取り組んでおり、へちまが出来るのを利用者、職員は楽しみにしている。又、地域との交流として2カ月に1回地域の高齢者と共にホームでレクレーションを兼ねた「お茶のみ会」を行っており、利用者と共に歌をうたったり、リハビリ体操、折り紙、ときには認知症についてのミニ勉強会など行っている。運営推進会議もホームの安全対策などが話し合われて、2階に非常用の外階段を設置するなど地域の方々と共に運営に活かされた話し合いがなされている。開設して10年になるが管理者、職員は常に向上心を持って、サービスの質の向上に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>利用者の方々が家にいたときのように、ゆったりとした流れの中で自分の生活をいきいきと過ごし地域の方々と交流を深め楽しみながら生活を送って頂けるような取り組みを日々職員とミーティングを行っています。</p>	<p>地域密着型サービスとしての意義を踏まえた理念を職員全員で話し合って作成している。理念は玄関、ホールに掲示して重要事項説明書にも明記している。職員は朝の申し送り時に理念を確認し、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。</p>	
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>自治会に入会したり泰和会(町おこし)寿高齢者クラブ、地域の行事に参加したり、泰平寺通りの清掃活動などを行っています。</p>	<p>2カ月に1回地域の高齢者の方々に招待してレクレーション(折り紙、歌、リハビリ体操等)を兼ねた「お茶のみ会」を行っている。又、地元企業の職場体験や高校生の実習の受け入れ、幼稚園の誕生会への招待や訪問など交流に努めている。</p>	
3		<p>事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている</p>	<p>老人会長さん、自治会長さんらと話し合いのもと、お茶飲み会を開催したり「自立の家たより」を配布したりして地域と交流を図っている。</p>	/	/
4	3	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議により御意見を頂き、今年2月に、火災など非常時に対応出来るよう2階に非常口を設置いたしました。会議ではいろんな意見交換をしています。</p>	<p>民生委員、奉和会会長、高齢者クラブ会長、栄養士、家族、職員、行政等の参加を得て2カ月に1回開催している。多方面からの意見やアドバイスなどもらい、安全対策やサービス向上に活かしている。外部評価の結果、運営推進会議の議事録は家族にも配布している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	生活保護の方が2名いらっしゃいます、生活状況などについて市と情報交換を行っています。今年度市の担当者が交代になりました今後連携を計って行きたい。	生活保護受給者もあり、日頃より連携を図り、協力関係を築くように努めている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	3月市による『高齢者の身体拘束などに関する研修会』受講。その後職場内での話し合いを行う。昨年法人内でも身体拘束の研修会有り。定期的に話し合いを行うようにしていきたい。	身体拘束廃止委員会もあり、毎月勉強会を兼ねて話し合いを行っている。日中は施錠などせずに安全で自由な暮らしを支援している。外出傾向にある利用者には職員がさりげなく着いて行き見守っている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	市の研修会受講及び職場で随時話し合いをしています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	3月市の研修会で受講、職場内で勉強会をしました。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所時は、ご利用者やご家族へ重要説明事項を説明し、ご理解、納得を得るようにしています。退所時のご利用者、ご家族と話し合いの上、その方に適した対応をしています。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者同士が、話をされているのを聞いたり、本人がいつも言っている事を考慮して解決するようにしています。またご家族及び近隣の人たちを含めいろんな人たちの面会、出入りが自由で、それぞれの話を考慮して対応するようにしています。</p>	<p>日常の面会時や毎月の利用料支払い時に職員、管理者が家族から意見、要望を聞き出すようにしている。出された意見、要望については職員全員で話し合っ運営に反映させている。利用者からは日常の会話の中で意見、要望を引き出すようにしている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>施設内での意見について施設内で判断出来ないことは運営者に報告相談、施設内で判断できる意見は皆で話し合いをして反映するようにしています。</p>	<p>職員間で共有すべき内容については申し送りノートの活用や朝、夕の申し送りを利用して利用者の情報の共有を図り、職員の意見等も表せるようにしている。</p>	
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員の資格取得に向け支援を行い、取得後は職場内で生かせる職場に配置しています。就業規則があり労働基準法にのった職場環境になっています。健康診断も定期的に行われています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内では毎月、介護技術、看護技術、感染症、安全対策、救急法、接遇などについて研修会を行っています。また外部の研修会にも積極的に参加し職員の育成に努めています。職場内でも救急方について勉強会を開いています。</p>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>鹿児島県認知症グループホーム連絡協議会発足と同時に入会、昨年いずみ川薩支部グループホーム連絡協議会が発足入会し、勉強会や研修会に参加交流、現在出水市「希望の家」や入来の「優雅の郷」と交流をしていきたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に本人・ご家族を含めて生活上の問題点、本人の状態などを把握し、本人にとってどういうケアをしていったらいいかなどを話し合っています。</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居される前に、本人ご家族が来所されたとき相談を受けています。本人にとって一番良いケアはどうしたら良いか、支援するにはどのような方法がいいかなどご家族と話し合い具体化し、検討しています。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談時に本人ご家族と話し合い、ご利用者にとってどのような支援が一番良いかを情報をもとに総合的に判断し必要なサービスの支援をしています。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>畑にジャガイモを植えました。畑のウネづくりかたや肥料の配合のしかた、種イモの植えかた等利用者の方々にアドバイスを頂き助かっています。また食事の準備や後片付け等をいっしょに行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>料金支払いは郵送でなく窓口で支払って頂いています、最低でも月一回は面会が出来るようにしご本人様の状況をお伝えしたり話し合いをもつ機会としています。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>近隣を散歩したり地区のレクリエーションに参加したりしています。また施設で対応出来ない部分についてはご家族に相談し支援しています。</p>	<p>利用者の友人を「お茶のみ会」に誘ったりするなど、馴染みの人や場所との関係継続の支援を努めている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>洗濯物の仕分けは、ご利用者の皆さんでされています。お互いが名前を呼び合ったり他者の洗濯物を手伝ったり、いきいきとした表情でお互いが助け合っています。お互い同士の名前も覚えられる機会となっています。各人の関係がうまく保たれるように座席の位置なども常に考慮しています。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用 契約 が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所先は同法人の病院・老健施設などに行かれることが多く、ご利用者の状況を聞いたり、面会に行ったりして本人・ご家族と話をしたりしています。自宅に帰られた方には、その後の様子を電話でお聞きしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>帰宅願望の強い利用者様がいますが、ご家族と相談しご家族と一緒に外出したり、草取りが好きなので畑などに行くことで気分を落ち着かれます。</p>	<p>会話の中から思いや意向を把握し、本人本位に検討している。困難な場合は表情、言動などから把握するようにしている。</p>	
24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>自宅で暮らしていた生活状況を把握し、自宅で過ごされていた環境になるべくそのような、なじみのものタンスや小物類を持ってきていただいたり畑仕事をしていた方々は畑などに出かけるようにして過ごしています。</p>	/	/
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>1人ひとりの生活リズム(食事・睡眠・排泄時間)を理解すると共に、行動・動作・発言などを通して個人の過ごし方を支援しています。</p>	/	/
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人の状況をご家族に聞いたり、それまでに関わったケアマネージャーなどと情報を交換し、本人の課題を分析し、本人、家族、職員間で話し合っ介護計画を作成しています。</p>	<p>本人、家族の思いや希望、職員の意見など反映した本人本位の介護計画を作成している。地域密着型サービスとして、「周りや地域との輪を増やし楽しく過ごしたい」との課題に対して散歩中に出会った方との会話、老人会との交流を取り入れた介護計画も作成している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人別に毎日の生活状況を生活記録に記録しています。また、個々に応じた問題点とかの伝達事項などは申し送りのノートに記入し、皆が共有し話し合い介護計画に反映しています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者の方に急激な事態が起きた場合、主治医ご家族と相談し本人御家族の状況に応じて必要により通院支援などを行っています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>近隣に民生委員様や老人会・自治会・町おこしの方などがいる相談にのっていただき支援をしています。警察・消防にも挨拶まわりをしその都度必要に応じて連携を計り相談に乗って頂くようにしています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>健康管理面では、併設の病院で定期的に受診、他科受診(専門病院)が必要と思われる時は、主治医、本人、ご家族の希望を聞いて適切な支援をしています。</p>	<p>本人、家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。法人の医師の往診もある。家族が連れていく際は情報提供票を持たせてホームとかかかりつけ医との連携を図っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常の利用者の健康管理は、看護職員が中心になり医療機関と連携をとって健康管理をしています。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>利用者が入院された時は、個人の情報を提供し転入先でのケアがスムーズにいくように支援しています。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化の方や終末期の方については方針を作成し対応をするようにしています。</p>	<p>重度化や終末期に向けたホームの指針を作成し、入居時に家族の希望を聞いてホームの方針を説明している。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>法人内で定期的に研修会があり、緊急時の対応(誤飲事故時の処置のしかた、AED、人工蘇生術)などについての勉強を体得しています。夜勤時の緊急時対応について、緊急マニュアルによって対応をするようにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>運営推進会議を通じて自治会長、町おこしの近隣の委員、老人会長、民生委員さんなど通じて話し合いをしています。なお施設内でも毎月避難訓練をしています。</p>	<p>利用者を交えて地震、水害、夜間想定訓練などさまざまな場面を想定した避難訓練を行っている。近隣の協力と、併設の施設との協力体制も話し合われている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報保護法の下、本人、ご家族に書類にて説明(個人記録、名札、写真など)し、尿失禁などがあった場合もそれとなく声掛けし利用者の誇りを傷つけないようにしています。	定期的に研修を行って人格の尊重意識を高め、職員の資質の向上に向けて取り組んでいる。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者の個性・希望・思いなど把握し個人に声掛けをしています。畑仕事で生活して来た利用者の方がいますが野菜作りなど尋ねると、肥料の撒き方、植える時期等とてもいきいきと話してくれます。		
38		日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	生活のリズムを作る為にある程度の時間的な流れはありますが、個々の生活を大事にするように配慮しています。その人の体調に合わせて希望など中心に散歩をしたり畑や花壇の手入れをしています。健康面や季節感を特に配慮しながら支援しています。畑仕事に従事してきた方が多いので土いじりをしたり苗を植えたりするときは、生き生きとされています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	各室や共有の場所に洗面台があり、朝は鏡を見て整髪・整容して頂いています。自分で出来ない方などは職員が介助を行なっています。ご本人やご家族に連絡をし、馴染みの理・美容室などを聞いて行けるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>献立は、業者のほうで作成。メニューの希望は時々聞いて連絡をしています。改善できるところはしてもらっています。調理は、利用者で出来るところを手伝って頂いています。食事は一緒に頂いてみんなで準備や片付けをしています。</p>	<p>家庭菜園でできた野菜の収穫を楽しんだり、にがごりや漬物の作り方など利用者に教わることも多い。又、献立を利用者に書いてもらったり、つわの皮むきを手伝ってもらったり個々の力を活かした支援を行っている。ときには、お茶とおやつを持って公園に出かけたり、花見、運動会など外でお弁当を楽しむこともある。</p>	
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立はカロリーバランスを栄養士が計算作成しています。入居者の食事量や水分量は個人の状態に応じて支援、個人記録に記載し全員が把握出来るようにしています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後は歯磨を全員行っています。自分で磨けなかったりする方には、過剰援助にならないように付き添い、声掛け、介助や見守りを支援しています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄が時々分かるが、時々分からない方が3名ほどいらっしゃいますが、昼間は布パンツ着用で昼間は声掛けをしてなるべく昼間は紙パンツを着用しないようにしています。最近は自分でトイレに行かれたりしています。</p>	<p>排せつの自立が身体状況にも結び付き、精神的にも落ち着いてくることから、基本的にはおむつ使用はしない方針で排せつの自立を支援している。排せつチェック表にて健康管理と排便のパターンを把握している。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>個人個人便秘の原因は様々です。身体的な問題はないか食事量・内容に問題はないか、また、運動量はどうかなど検討し、身体的なものは主治医と相談し、食事に関するものは栄養士に相談をして対応しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は、個人の希望に合わせるようにしています。一人ずつ、ゆっくり入浴が出来るように支援しています。	希望があれば毎日の入浴も可能で一人ひとりに応じた入浴の支援を行っている。入浴をためらう利用者には声かけや入浴担当を替えるなど工夫して入浴してもらっている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の昼夜の睡眠状態に応じて支援をしています。昼夜逆転の人には、昼間散歩をしたり、体操するなど体を動かしたり、食事量や体調なども考慮しています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は薬局から出される効能、副作用の説明書また、医師の説明などにより薬の効果、副作用などを理解し内服後の観察、副作用に注意しています。本人の状態変化がみられた時は看護職員を通じ、医師に連絡をとっています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居時に、本人ご家族に生活歴や趣味を聞いて、個々に合わせた日常生活を送るようにしています。畑仕事に従事していた方が多いので季節の野菜を植えています。土の手入れをしている時は生き生きとした顔をしてされています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の希望や気分・体調などに応じて、季節を肌で感じていただき、日常的に散歩、買い物等に出掛けています。	日常的には散歩、畑仕事、ドライブ、近くの大型スーパーへの買い物などで戸外に出かけられるように支援している。花見や大綱引き、ハンヤの見学にでかけることもある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自分でお金を管理できる人は少ないですが、買い物に行った時に1人1人にお金を渡してレジで支払いをして頂いています。自分で買ったということを大事にしています。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>利用者の希望に応じて日常的に電話や手紙を出せるようにしたり、年賀状、暑中見舞い状なども声掛けをしています。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関の入り口には、季節の花を植えたプランターを置いたり、玄関や皆で過ごす食堂には季節の花をいけた花瓶を置き、季節感を感じられるようにしています。食堂は照明を明るく保ち、台所、浴室の入り口には暖簾を掛けて生活感が感じられるようにしています。壁の貼り絵など季節ごとに張り替えています。</p>	<p>共用空間は落ち着いた雰囲気がある。大きなテーブルが2か所おいてあり、利用者は好みの場所で思い思いの時間を過ごしている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>玄関の入り口にはベンチ、玄関ホール、食堂、居室などに、畳椅子、ソファなど置いてスペースづくりをしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の時、本人の馴染みの品物など、持ってきていただくように話をしています。品物を処分してないとか持ってくるのが大変だと言われるので、その時は、アルバムとか昔着ていた服、鏡台、くし、裁縫箱などアドバイスしています。小タンス、家で使っていた椅子、家族の写真など持って来られています。	タンス、家族の写真、ぬいぐるみ、時計など好みのものが持ち込まれ居心地良く過ごせるように工夫している。窓の障子が家庭的な雰囲気を出しており、各居室に洗面台が設置されているので自立できる利用者は居室で歯磨きや身だしなみを行っている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内はバリアフリーになっています。また、トイレや廊下など手擦りをつけてあります。風呂場は、手擦りや滑り止め、浴槽内には椅子を置いたりして身体機能を考慮して利用者の安全面を考えています。		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1 ほぼ全ての利用者の
		2 利用者の2/3くらいの
		3 利用者の1/3くらいの
		4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1 毎日ある
		2 数日に1回程度ある
		3 たまにある
		4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1 ほぼ全ての利用者が
		2 利用者の2/3くらいが
		3 利用者の1/3くらいが
		4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36,37)	1 ほぼ全ての利用者が
		2 利用者の2/3くらいが
		3 利用者の1/3くらいが
		4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1 ほぼ全ての利用者が
		2 利用者の2/3くらいが
		3 利用者の1/3くらいが
		4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	1	ほぼ全ての家族と
		2	家族の2/3くらいと
		3	家族の1/3くらいと
		4	ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1	ほぼ毎日のように
		2	数日に1回程度ある
		3	たまに
		4	ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1	大いに増えている
		2	少しずつ増えている
		3	あまり増えていない
		4	全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1	ほぼ全ての職員が
		2	職員の2/3くらいが
		3	職員の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1	ほぼ全ての家族等が
		2	家族等の2/3くらいが
		3	家族等の1/3くらいが
		4	ほとんどいない